

平成28年3月17日

白川町地域公共交通会議委員 様
各地区自治協議会長 様・佐見副自治協議会長 様
町内送迎サービス事業者 様
東白川村公共交通（有償運送）担当 様

白川町地域公共交通会議事務局
（白川町役場 企画課企画係）

地域公共交通会議の「地域部会準備会」に関する連絡事項等について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。このたびは、標記の準備会にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

当日の進行を円滑に進めるため、“準備会の進め方”の説明資料及び参考資料を送付しますので、事前にご覧いただければ、幸いです。

1. 地域公共交通会議について

- ・白川町は、法律に基づく組織である「地域公共交通会議」を1月に設置しました。
- ・新年度からは東白川村と合同会議を設置し、地域公共交通の維持、確保、改善に取り組みます。
- ・「地域公共交通はみんなで議論してつくるもの」という考え方は、これまでの白川町にはありませんでしたが、今やそれは国が推進する全国的にも主流の考え方となっています。
- ・よりよい仕組みを作るには、住民の声がよく届く会議としなければなりません。

2. 地域部会について

- ・住民の声が届くよう、下部組織として地域ごとの課題に対応する「地域部会」を設置します。
- ・白川、白川北、蘇原、黒川、佐見の5地区に、地域部会を設置する予定です。
- ・それぞれの地域に適した公共交通の仕組みや交通弱者対策をつくるには、住民の声を反映できる地域部会であることが重要です。

3. 準備会について

- ・今回の準備会を開催する目的は、地域部会の骨組みづくりを始めることです。
- ・地域の代表者である自治協議会長様のもと、地域公共交通会議委員（住民代表、バス・タクシー事業者、東白川村職員）及び町内送迎サービス事業者（白川病院様、社会福祉協議会様、（社副）白泉会様）にも参加いただき、意見交換しながら、どういう組織が望ましいかを共に考え、地域部会の骨格を固めたいと考えております。
- ・国土交通省「交通政策審議会委員」の名古屋大学大学院 加藤博和先生をお招きし、地域部会の設置や事業展開等に関する助言や情報提供をいただきます。

4. 当日の進め方

- ・次ページのような進め方を予定しています。

「地域部会の準備会」 その進め方

この機会を使って、どうしたいのか？

情報や知識を得る	国内最先端、地域公共交通のスペシャリスト（加藤先生）から、全国の成功例、失敗例や未知の情報を得ることで、新たな気づきや発想の転換につなげる。
公共交通に対する意識を変える	関係者全員が当事者意識（自分達が主役）を持つきっかけとする。新しい交通の仕組みは行政や事業者が勝手に作るものではないし、1回作ればそのまま行くものでもない。 これからは試行錯誤、PDCAにより、自分達の公共交通の仕組みを守り育てるには、自分達で考え続けなければいけない覚悟を決める機会としたい。
地域部会の体制づくりを開始する	地域部会が、各地域の想いを実現させるため、住民にとって最も身近な組織となることを認識してもらう。会の終わりには、部会の骨組み（どういう組織にしたいか）のイメージを固めてもらう。5地区一律の組織形態ではなく、各地区にとって必要なメンバー構成を考える。→（4月以降）事務局とともに組織を固める。

そのために… 今回の会議は、対話の時間と自ら考える時間を多くとります。

- ・会議形式（机が口の字）で端から順に1人ずつ発言していく形式はとらない。
（理由：一巡するのに30分以上かかるし、意見交換の時間を増やしたい為）
- ・地区ごと5つのテーブル（固まり）に、自治協議会長が分かれて着席 別図
- ・交通会議委員（事業者、保護者代表、商工会、観光協会、ケアマネ、東白川村）は、適宜分かれて着席
- ・送迎サービスの3事業者（白川病院、社協、白泉会）も、適宜分かれて着席

- ・設定テーマ1について、テーブルのメンバーで懇談 (20分)
- ・中断して、懇談内容を地区ごとに発表する。 (10分)
- ・加藤先生から助言や情報提供をもらい、質疑応答の時間をとる。 (10分)

- ・自治協議会長は固定し、それ以外の参加者はテーブルを移動 (3分)
- ・設定テーマ2について、テーブルのメンバーで懇談 (15分)
- ・中断して、1回目と同様の時間とする。 発表 → 助言・情報提供 → 質疑応答 (20分)

- 休憩 (10分)

- ・自治協議会長は固定し、その他参加者はテーブルを移動 (3分)
- ・設定テーマ3について、テーブルのメンバーで懇談 (15分)
- ・懇談を終了し、懇談内容を地区ごとに発表する。 (10分)
- ・加藤先生から総括的な助言と情報提供をもらい、質疑応答の時間をとる。 (20分)

テーマ1 「地域の足について、実態を語る・理想を語る（どうしていききたいのか）」

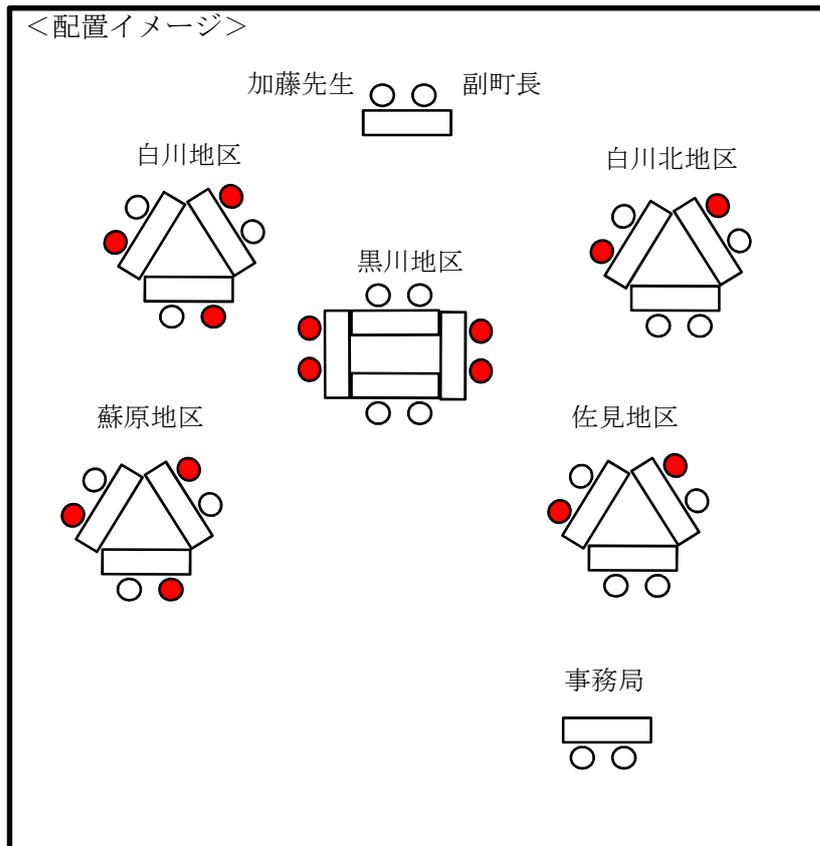
テーマ2 「25年後も暮らしを支える公共交通を考える。（まちづくりに活かさないか）」

テーマ3 「地域部会の骨組みを考える。（どういうメンバーが有効か?）」

※テーマは若干変わることもあります

- ・事業者委員及び送迎サービス事業者の方には、それぞれの立場から、ノウハウを活かした提案などを話してもらいます。
- ・懇談中、加藤先生に各テーブルを巡回していただきます。

別図



● 自治協議会長
○ その他
※佐見は会長1人なので副会長も参加

自治協議会長(副含む)	14人
委員:議員	1人
委員:中高生母親	2人
委員:商工会	1人
委員:観光協会	1人
委員:老人クラブ	1人
委員:ケアマネ	1人
委員:濃飛バス	1人
委員:白川タクシー	1人
委員:東白川村	1人
社会福祉協議会	1人
白川病院	2人
(社副)白泉会	1人
オプサーバ:OKB総研	1人
事務局:企画課職員	5人

事前配付資料について

- ・準備会の当日、資料内容の説明は、特に行わない予定です。
- ・当日の懇談での話題づくりにご利用ください。
例:「この資料で「●●●」と言っているが、私はこう思う・・・」など

事前配付資料について

※準備会の当日、持参願います。

●高校通学形態アンケート結果 別紙グラフ参照 全 11 頁

2月上旬に、高校への通学形態を調べるアンケート調査を実施しました。

(対象者) 高校生 1, 2 年生 JR 通学者 及び 高校スクールバス通学者 1 2 2 名

うち 8 3 名から回答 (回答率 6 8 . 0 %)

中学 3 年生 全員 7 4 名 うち 6 9 名から回答 (回答率 9 3 . 2 %)

※寮・下宿等の高校生に関する情報を保有していないため調査していない。

アンケートの内容	高校	中学
現在の自宅から駅までの通学手段 (バス・自家用車・その他) 平日 5 日、休日 2 日の内訳も回答 例：5 日中 バス 1 日、車 4 日など	○	—
4 月以降の " 予定 (バス・自家用車・その他) ※中学生は進学予定先の地域も回答	○	○
J R の利用状況 (行き：何駅から何方面へ何時発で・帰り：何方面から何駅に何時着で) (利用予定) ※高校生は現在、中学生は予定で回答	○	○
高校スクールバスの利用状況 (よく使う・たまに使う・使わない)	○	—
親の気持ち、子どもの気持ち (自宅通学させたい/したい・寮下宿アパート住まいさせたい/したい)	○	○
4 月以降の通学形態予定 (自宅通学・寮・下宿・アパート)	○	○
濃飛バス減便による代替バスの利用希望 (希望あり・希望なし)	○	○

まだ分析まではできていませんが、以下のようなことが分かりました。

<高校 1, 2 年生>

- ・白川、白北の高校生は路線バスを使わない。よく使うのは蘇原（切井）と黒川の高校生で、そのまま高校スクールバスを利用する子が多い。
- ・佐見は仕事のついでに駅まで送る親が多いが、白川、白北、蘇原は通学のために送る。
- ・行きは仕事のついででも、帰りはそのために迎えに行く。
- ・JR 通学は、朝は同じ時間に乗っても、帰りの時間はバラバラ（日によって違う子もいる）
- ・白川口利用は 6 2 人、下油井駅利用は 1 9 人
- ・高校スクールバスを休日でもよく使うのは蘇原（切井）のみ。
- ・現在自宅通学している高校生は、親も本人も自宅通学させたい（したい）と思っている。

<中学 3 年生>

- ・佐見の子どもは自宅通学が一人もいない。（可茂・下呂方面以外へ進学する子が多いためか）
- ・白北、蘇原は朝は仕事のついでに送ろうと考えているが、白北は朝だけ、蘇原は帰りも仕事のついで
- ・黒川は路線バスでの往復がほぼ 7 割ある。
- ・自宅通学 5 1 人、寮・下宿等は 1 6 人、卒業を機に転出 2 人
- ・佐見以外は、高校までは自宅通学させたい（したい）と考える親子が多いが、地域差がある。

●親の気持ち・子どもの気持ち 全 6 頁

自宅通学、寮・下宿（させたい/したい）の回答について選択理由を聞きました。

●1/17,18 実施 路線バス運行見直しに係る地域懇談会での意見のまとめ 全 2 頁

蘇原・佐見地区で開催した、路線バス減便についての懇談会で出た意見をまとめました。

●蘇原・佐見地区での地域懇談会の後提出された意見書より 全 1 頁

懇談会で意見書の提出をお願いしたところ、数人の方からご意見や提案をいただきました。

●2/12~19 実施 町政懇談会における公共交通に関連した議事内容 全 1 頁

懇談会（地方創生総合戦略の説明会）で出た公共交通に関する意見をまとめました。

●みのかも定住自立圏実施 交通ニーズ調査より 全 2 頁

平成 25 年度に実施された調査から、白川町と東白川村の「自由意見欄」を抜粋しました。